

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 27 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 2 ～図 3）

10 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。また、硫黄鳥島西岸の海岸線に沿って長さ約 500m の青白色の変色水が認められました。

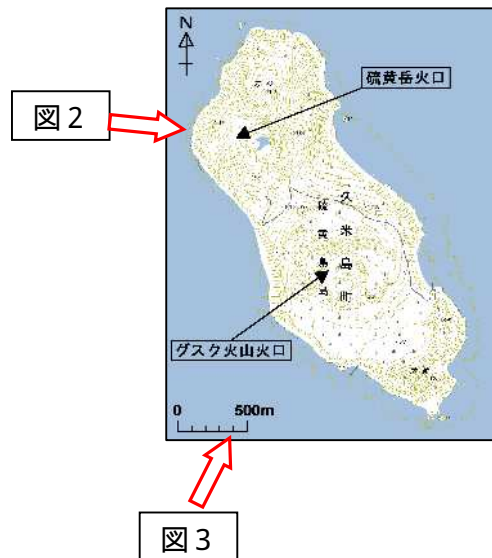


図 1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向



図 2 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況（火口西側から撮影）

2 月 10 日の観測（第十一管区海上保安本部提供）
南西側火口壁の噴気、火口内陥没口の噴気

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を複製しています（承認番号：平 26 情複、第 658 号）。



図3 硫黄島 グスク火山火口からの噴気の状態及び変色水域（南西側から撮影）
2月10日の観測（第十一管区海上保安本部提供）